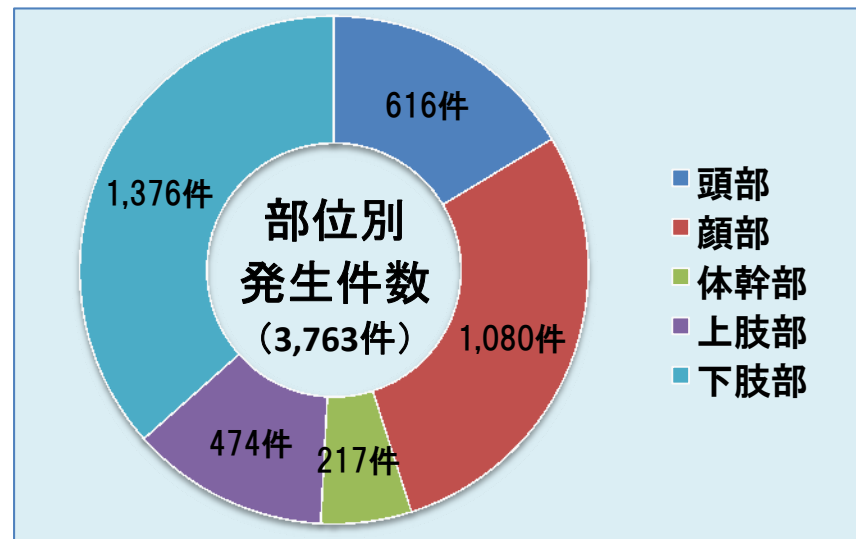


プールのけがに気をつけよう！(小学校編)

1. 体のどこをけがするのか？

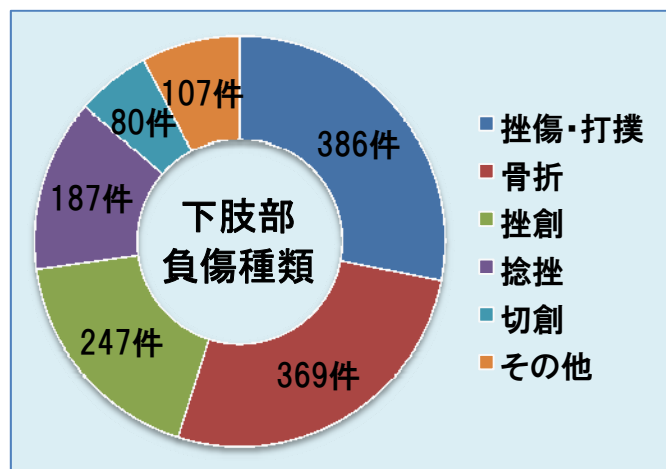
平成21年度に小学校のプールで発生した事故について、体のどの部位を怪我したのか分析したところ、右のグラフの通り、

1位	下肢部	1,376件
2位	顔部	1,080件
3位	頭部	616件



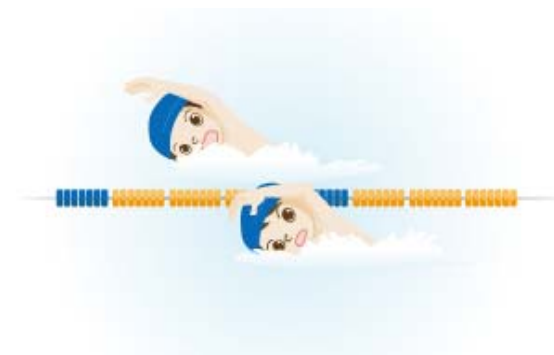
という結果となりました。

小学校では、特に下肢部と顔部のけがが多くなっています。



さらに分析すると、下肢部の中でも挫傷・打撲、骨折といったけがが多く発生しています。

それでは、小学校のプールで多く見られる災害事例を見てみましょう。



2. どんな時にけがをしているかな？

プールサイドで歩いている時に転んだり、ベンチや段差に足をぶつけてけがすることが多いようです。プールサイドは濡れて滑りやすいので、落ち着いて行動しましょう。

その他に、泳いでいる時に手足がぶつかったり、水中から出てきた時に頭がぶつかってけがすることがあるので、気をつけましょう。



学年	負傷種類	負傷部位	発生状況
6年	骨折	足・足指部	プールサイドをよそ見をして歩いていたところ、左足を水道場のコンクリートにぶつけてしまった。
5年	挫傷・打撲	下腿部	プールで泳いでいたところ、後ろから泳いできた児童とぶつかり、右足に擦り傷を作ってしまった。
6年	挫傷・打撲	膝部	プールの底を掃除している時、足が滑ってしまい、右膝底のコンクリートにぶつけてしまった。
2年	脱臼	歯部	水中に潜って輪投げ拾いをしていた時、すぐ近くの児童が急に水面に出てきたため、その後頭部が本児童の口部分にあたり負傷した。
5年	挫傷・打撲	頭部	シャワーを浴びるため、足洗い場に足を入れた時、滑って後ろに転倒し、後頭部を強打した。